

明德義塾高等学校

- ・キャンパスは須崎市の堂ノ浦と土佐市の竜に二つ
(私たちの通っているのは竜キャンパス)
- ・竜キャンパス在籍数は約350名
(内留学生は約50名)
- ・南海トラフ地震発生時、津波の来る可能性が非常に高いところに立地しています。

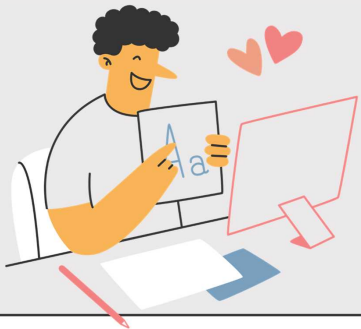


作成者 5年英語コース城宝唯奈

①防災教室



防災教室とは？



対象	何を教える	そのほか
今回は中学一年生の留学生生徒向きに防災教室を行いました	自然災害についての知識 明德内での避難方法	実際に避難訓練をしてみる 防災カードを配りました

防災教室



防災教室参加した防災委員たち



カルヴィン

英語翻訳



濱田祐輝

やさしい日本語



堀部美

韓国語翻訳



城宝唯奈

中国語翻訳

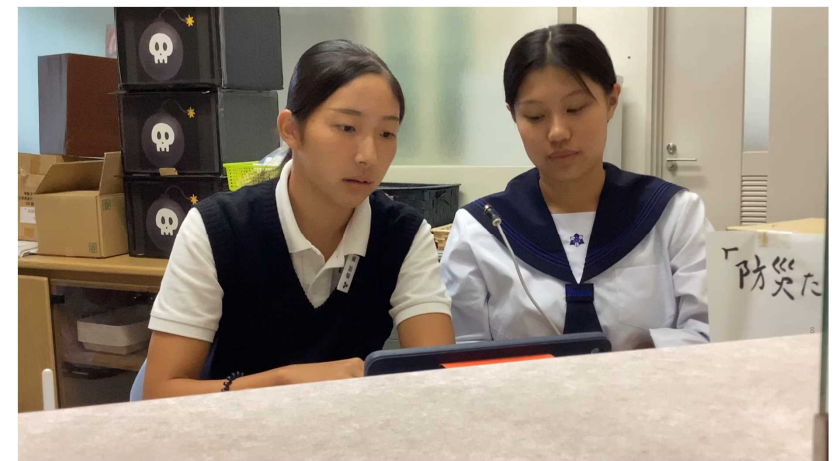
② たんぽぽラジオ



- ・月に1回、ロングホームルームの時間を使って全校放送しています。



- ・1回10分程度で、テーマを絞って放送することで、日常的に防災について考えるきっかけになることを目的としています。

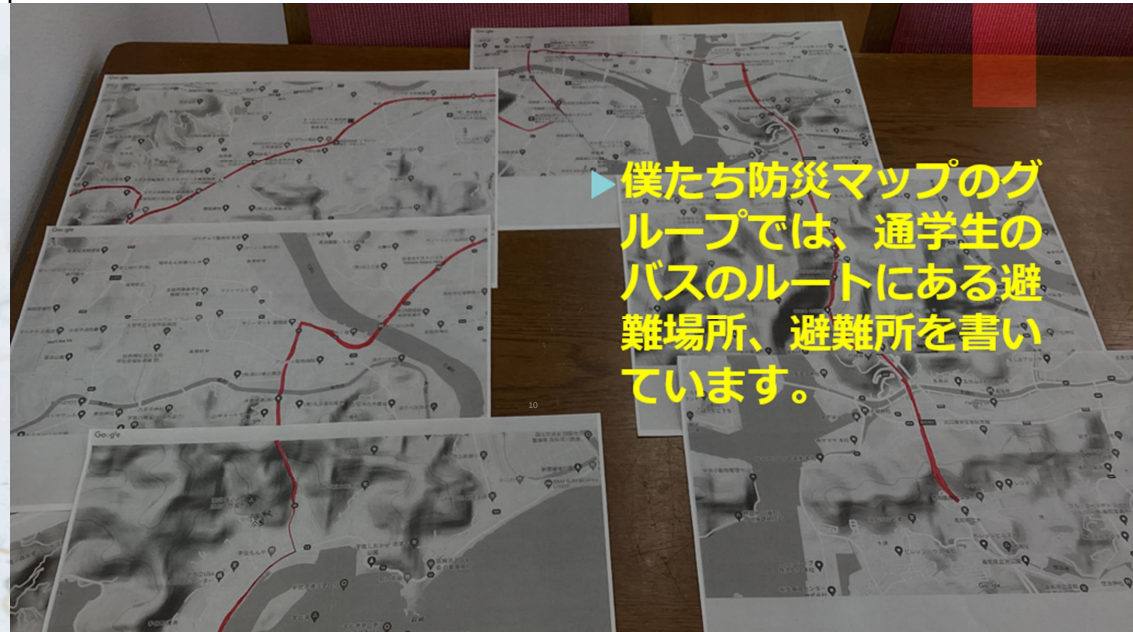


防災マップ

ディザスタープリフェンションp.m

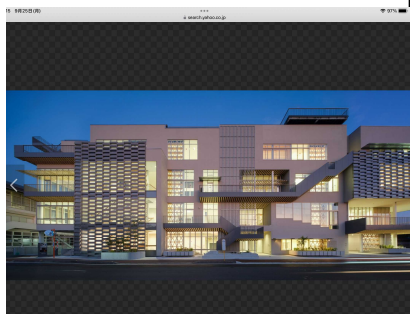


▶ 僕たち防災マップのグループでは、通学生のバスのルートにある避難場所、避難所を書いています。

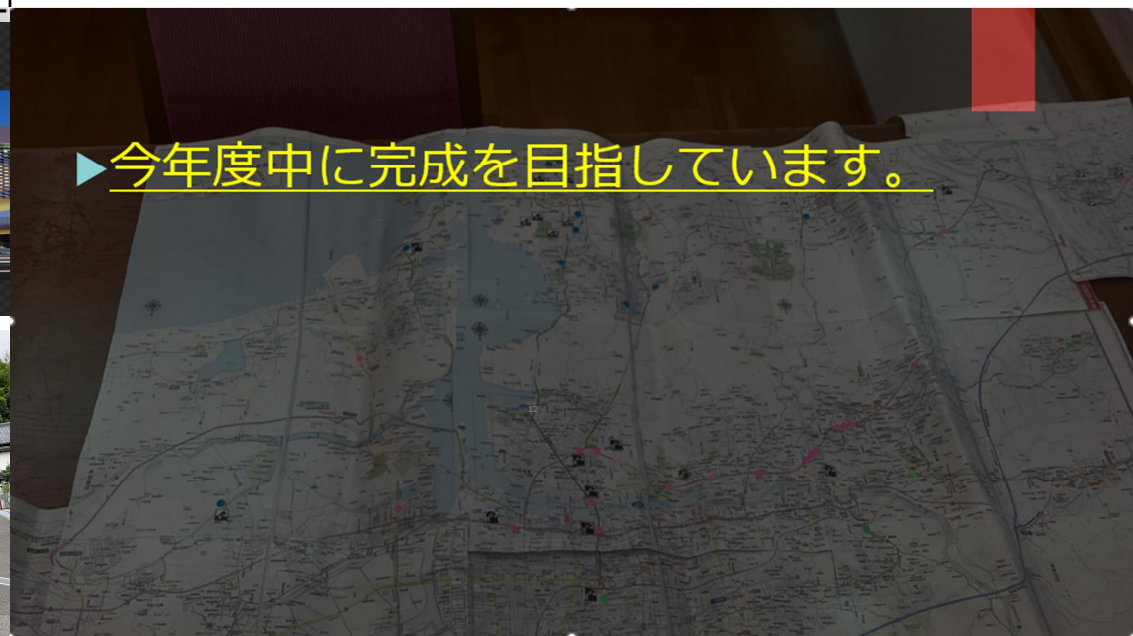


津波指定避難所
風水害時避難所
スポーツセンター
須賀市

今現在避難所 避難場所の写真を集めています。そして集めた写真を貼る作業をしています。



▶ 今年度中に完成を目指しています。



以上防災マップ班でした。

ご視聴頂きましてどうもありがとうございました。

④地域での合同訓練



- ・これまで、防災委員の活動では地域の方とのつながりが薄いと考えていました。
- ・去年から地区防災の方と話し合い、7月11日に竜キャンパスの避難場所である黒潮ライン上のヘリポートでテントの設営練習と仮設トイレの設置練習をしました。
- ・地域の方と一緒に活動することで「共助」について具体的に考えることができました。
- ・課題として、これまで学校関係者を中心に考えていた部分に地域の方が加わったときの物資のやりくり等を考え直す必要がありました。

最後に

防災委員の活動を通じて防災士の資格を取った先輩や、女性防災の活動に参加して社会的弱者にやさしい社会実現に貢献したい。地域の活性化についてもっと勉強したいと進路を決めた先輩もいました。

防災について留学生にも伝わるように工夫をする中で、日常でも活かせる国際意識を高めることもできました。実践校に選んでいただいて得たものを土台として、防災の活動を継続していきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。